

課題：研究力低下・研究開発マネジメント人材の質的量的不足・博士人材の活躍の場不足

効果：「人」が生み出す価値向上→国力向上 ナレッジワーカーが日本を変える

岡山大学における研修に求める人材

岡山大学の研修では、「大学執行部のブレーン」である岡山大学基準のURAを育成します。

大学経営を左右できる判断を行うための実践的研修プログラムであるため、研修生の皆様には、以下の要件を求める

- 大学での勤務経験が1年以上あり、大学や高等教育についての知識を有すること。
- URA、コーディネーター等、研究マネジメントに関する勤務経験が半年以上あること。
- 受講するメニューに必要な条件を満たしていること。
- 岡山大学に出向し、研修を積極的に受講すること。（人材育成の観点から、全てのメニューの受講を強く推奨します）

コアメニュー以外は、サブカリキュラムとして一部の受講でも可

研究開発マネジメント人材：コア業務構造より研修事業を構築（連携機関：PMI日本支部、協力機関：PMIアジアパシフィック）

大学・組織マネジメント 研修項目1)

「研究IR」「研究インテリジェンス」「経営資源の戦略的配分」「戦略広報」「前向きなリスク管理」をテーマとした、URAを含めた専門家による実践研修

【研究力調査分析】

- 研究者個人及び群の研究IR分析
- 新たな拠点組成に向けた分析、掘り起こし、伴走支援

【経営戦略に関する研修】

- 新たな研究拠点組織及び研究設備マスター プランの組成
- 研究広報
- 大学ランキング分析
- 諸規則の法規
- 安全保障輸出管理
- エグゼクティブアワー（※）

※エグゼクティブアワー：学長等執行部の随行業務、有識者講演のアレンジ等、本学独自のプログラム

産学官・知財、スタートアップ 研修項目3・4)

「企業等との共同研究」（開拓・接続・共同研究費獲得）「知財戦略」（シーズ発掘・特許の出願維持等）「スタートアップ育成支援」をテーマとした、URAを含めた専門家による実践研修（プラットフォーム・既存プログラムを活用）

【産学連携・知財実践研修】

- 医療プラットフォームシーズ有用性評価
- 海外を含めた企業等とのタフな交渉研修
- 地域プラットフォーム研修
- ベンチマー킹や施策検討・決定など具体的施策、実施等
- 産学連携のプロジェクト組成等

【スタートアップベンチャー支援実践研修】

- アントレプレナーシップ教育
- 各種計画、戦略策定（事業計画、知財戦略、資本政策、人事戦略、人事政策、経営戦略）

プロジェクトマネジメント 研修項目7)

世界最大規模プロジェクトマネジメント組織と連携し、PM基礎研修から専門資格CAPM取得までサポート。国内だけではなく、海外のPM現場の実体験研修を実施するなど、研究開発マネジメント人材に役立つメニュー

【国内研修】

- プロジェクトマネジメント基礎研修
- プロジェクトマネジメント運用研修

【海外研修】

- プロジェクトマネジメント運用研修

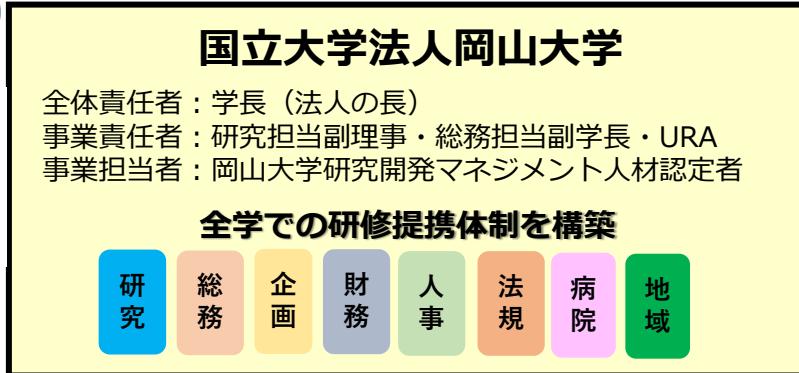
【論文作成】

- 専門誌「プロジェクトマネジメント研究報告」

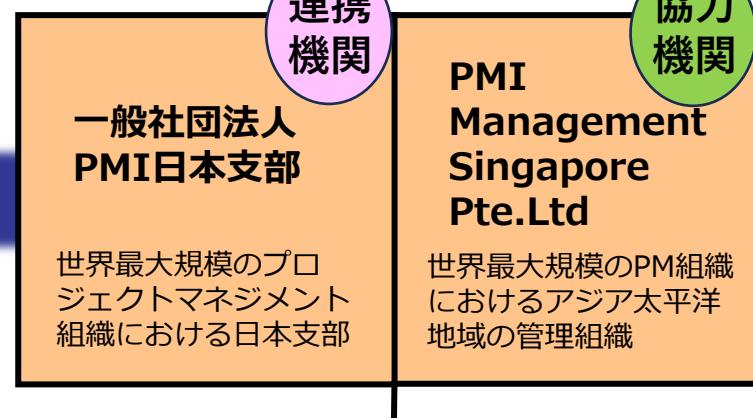
Point

- 受講者が直に岡山大学の経営戦略に関わり、大学経営を左右する判断が行う実践的研修プログラムを用意。そのため、研修機関での身分も「参与」や「参事役」の高位職待遇で受け入れる。さらに派遣元大学の意識変容を促す研修メニューも提供し、人と組織の変革に。
- 大都市部ではなく地域ならではのスタートアップ、産学連携メニューを提供。また、医学部や大学病院がない、関係が薄い体制強化機関をバッゲアップするため、ヘルスケアに特化した研修も充実提供。
- 研修終了者にはオープンバッヂを付与するとともに、本人・派遣元の了解があれば、研修後も在籍可能。

事業実施体制図（岡山大学）

提案
機関OKAYAMA
UNIVERSITY

連携

連携
機関協力
機関

1) 研究力の調査分析・経営戦略

変革実践プログラム

〔研修担当代表者〕
総務担当副学長
URA

3) 産学官連携支援・知財関連
(地方大学)

ヘルデジプラットプログラム

〔研修担当代表者〕
イノベーション担当副理事
副病院長

4) スタートアップ支援関連

瀬戸内スタートアップ人材
プログラム

〔研修担当代表者〕
スタートアップ・ベンチャー
創出本部長

7) プロジェクトマネジメント

プロマネノウハウプログラム

〔研修担当代表者〕
研究・産学共創総括担当副理事
URA

✓学長の主導のもと、全学の執行部会合で、本事業を「研究部門任せ」に対応ではなく、「**全学体制**」で事業実施体制を構築。

✓岡山大学独自の研究開発マネジメント人材制度の認定者が事業担当などを担う事業実施体制に。

✓わが国のマネジメント人材型URAが体制各所で活躍。これまでの研修実績を本事業でも発揮できる事業実施体制に。

✓プロジェクトマネジメントの世界最大規模の専門団体PMI日本支部と連携し、研究開発マネジメント人材におけるプロジェクトマネジメントの研修を本邦初実施できる体制に。さらにPMIアジアパシフィックとも協力し、グローバルの現場における「生」のプロジェクトマネジメント研修を受けられる事業実施体制を構築。

✓受講者本人と派遣元大学等の了解があれば、研修後も兼業・クロアポ等で本学に在籍可能。人件費等は本学負担する体制に。

✓事業終了後も研究開発マネジメント人材の人的ネットワークの形成の重要性からアラムナイの組織化（仮称：知の架け橋ネットワーク）などのフォローアップ体制も構築。